



# AT-UMX3



USBオーディオミキサー

---


## 取扱説明書


# 安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために次の内容を必ずお守りください。

 <b>警告</b>	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
 <b>注意</b>	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

## 本体について

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>分解や改造はしない</b> 感電、故障や火災の原因になります。</li><li>• <b>強い衝撃を与えない</b> 感電、故障や火災の原因になります。</li><li>• <b>濡れた手で触れない</b> 感電やけがの原因になります。</li><li>• <b>異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない</b> 異常に気付いたらすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店が当社サービスセンターに修理を依頼してください。</li><li>• <b>水をかけない</b> 感電、故障や火災の原因になります。</li><li>• <b>本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない</b> 感電、故障や火災の原因になります。</li><li>• <b>布などで覆わない</b> 過熱による火災やけがの原因になります。</li><li>• <b>本製品のUSB端子や付属のUSBケーブルに水分や異物がついた状態で使用しない</b> 腐食・発熱・発煙・発火などによる故障や感電の原因になります。</li><li>• <b>USBケーブルの端子が曲がっていたり、差し込みが緩くなっている状態で使用しない</b> 故障や火災の原因になります。</li></ul>
---	---

 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>大音量で耳を刺激しない</b> 耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聴くと聴力に悪影響を与えることがあります。</li><li>• <b>不安定な場所に設置しない</b> 使用するケーブルの重さや引き回し方によっては本体が不安定になる場合があります。ケーブルをラックに固定するなどの工夫をしてください。</li><li>• <b>足に引っ掛かりやすい場所にケーブルを引き回さない</b> 本製品の落下などにより、けがや故障の原因になります。</li><li>• <b>直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない</b> 故障、不具合の原因になります。</li><li>• <b>火気に近づけない</b> 変形、故障の原因になります。</li><li>• <b>本製品に電源を供給するときおよび供給を断つときは、必ず接続機器の音量を下げる</b> 接続機器が故障するおそれがあります。</li><li>• <b>ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない</b> 変形、故障の原因になります。</li></ul>
---	---

# 使用上の注意

- ご使用の際は接続機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 万一、接続機器のメモリーなどが消失しても、当社では一切責任を負いません。
- 接続する際は、必ず機器の音量を最小にしてください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。また水がかからないようにしてください。
- USBケーブルを使用する際は、必ずプラグを持って抜き差ししてください。USBケーブルを引っ張ると断線や事故の原因になります。
- USBケーブルを使用しないときは、必ず本製品からUSBケーブルを取り外してください。
- 接続するケーブルのプラグは根元まで確実に差し込んでください。
- ケーブルの抜き差しは、GAINとLEVELを最小の位置にしてから行ってください。
- 不要なノイズを避けるため、使用しない入力のGAINとLEVELは最小の位置にしてください。

# 各部の名称と機能

## ミキサー

天面



### 1 ファントム電源スイッチ

スイッチを「+48V」にすることで、マイク入力端子のXLRプラグにDC+48Vファントム電源を供給します。マイク入力端子にコンデンサーマイクを接続するときは「+48V」にしてください。

### 2 ライン入力切替スイッチ

ライン入力端子の「GUITAR」(↓)と「KEYBOARD」(■)に接続した楽器で入力したいほうに切り替えます。

### 3 入力ピークインジケータ

マイクからの入力音が大き過ぎるときに点灯します。点灯した場合は、マイク入力のゲイン調整ノブ (GAIN) を左に回して入力音を下げてください。

## 各部の名称と機能

### 4 ゲイン調整ノブ

入力音量を調整します。ピークインジケータが頻繁に点灯する場合は、最大入力で一瞬点灯する程度に下げてください。

### 5 レベル調整ノブ

入力音のレベルを調整します。

### 6 マイクミュート（消音）ボタン

マイク入力の音声をミュートします。ミュート中はボタンが赤色に点灯します。

### 7 出力ピークインジケータ

出力音が大きすぎるときに赤色で点灯します。適切な音量で音をデバイスに出力するには、シグナルインジケータ（SIG）が点灯し、最大入力で入力ピークインジケータが一瞬点灯する程度まで「GAIN」と「LEVEL」を下げてください。

### 8 電源インジケータ

本製品に電源が供給されているときに点灯します。USB端子（USB Type-C）にパソコンを接続するか、家庭用コンセントに接続した市販のUSB電源アダプターをUSB電源端子（USB Type-C）に接続することで電源が供給されます。

### 9 シグナルインジケータ

デバイスへ出力する音の大きさが-15dBFS以上あるときに緑色点灯します。

### 10 マイクモニターミュート（消音）ボタン

ヘッドホン出力端子からのモニター音で、マイク入力の音声をミュートします。

### 11 ループバックスイッチ

ONにすることで、パソコンまたはスマートフォン／タブレットなどのデバイスで再生されている音と本製品に入力された音をステレオミックスしてデバイスに出力します。

### 12 ヘッドホン音量調整ノブ

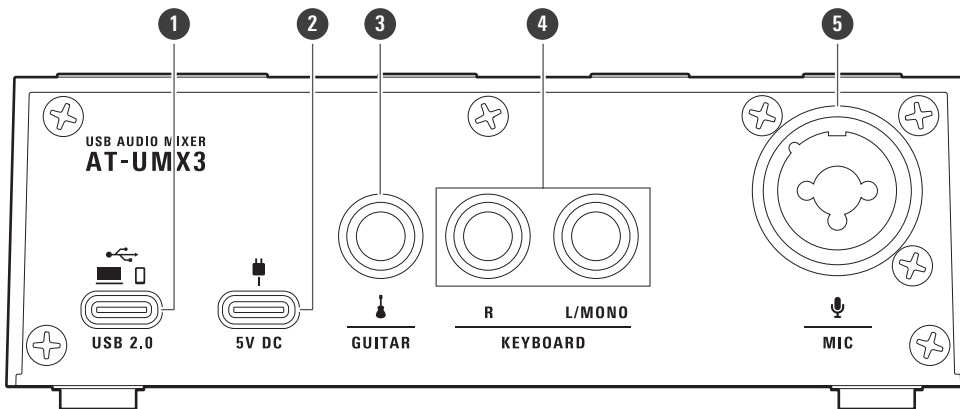
ヘッドホン出力端子に接続したヘッドホンの音量を調整します。ノブを左に回すと音量は小さくなり、右に回すと大きくなります。

### 13 ヘッドホン出力端子

モニター用ヘッドホンのφ3.5mmステレオミニジャックです。ミキシングされた音をモニターできます。

# 各部の名称と機能

## 背面



### 1 USB端子 (USB Type-C)

データ通信を行うパソコンまたはスマートフォン/タブレットなどを接続します。

- スマートフォン/タブレットをご使用になる場合は、別途本製品への電源供給が必要になります。市販のUSB電源アダプターを使用して「2 USB電源端子 (USB Type-C)」に電源を供給してください。
- パソコンを接続したときは、パソコンからUSBケーブル経由で電源を供給できるため、「2 USB電源端子 (USB Type-C)」の接続は不要です。

### 2 USB電源端子 (USB Type-C)

市販のUSB電源アダプターを使用して家庭用コンセントから本製品へ電源を供給します。

- 「1 USB端子 (USB Type-C)」にスマートフォン/タブレットを接続する場合に接続が必要となります。パソコンを接続するときは、パソコンからUSBケーブル経由で電源を供給できるため、「2 USB電源端子 (USB Type-C)」の接続は不要です。
- 接続は、スマートフォン/タブレットを「1 USB端子 (USB Type-C)」に接続してから行ってください。USB電源アダプターを先に接続すると、スマートフォン/タブレットが認識されない場合があります。

### 3 ライン入力端子 (⏚)

エレキギターやエレキベースなど、出力インピーダンスの高い楽器を接続します。

- 本端子はHi-Zに対応しています。
- $\phi 6.3\text{mm}$ モノラル標準プラグ (アンバランス接続) を使用してください。バランス接続で使用した場合は正常に動作しません。

### 4 ライン入力端子 (㊦)

電子キーボードやオーディオ機器などのステレオライン音のデバイスを接続します。「L/MONO」端子は、モノラル出力デバイスを接続するときに使用します。この場合、「L/MONO」端子への入力、Lチャンネルだけでなく、Rチャンネルからも出力されます。

- $\phi 6.3\text{mm}$ モノラル標準プラグ (アンバランス接続) を使用してください。バランス接続で使用した場合は正常に動作しません。

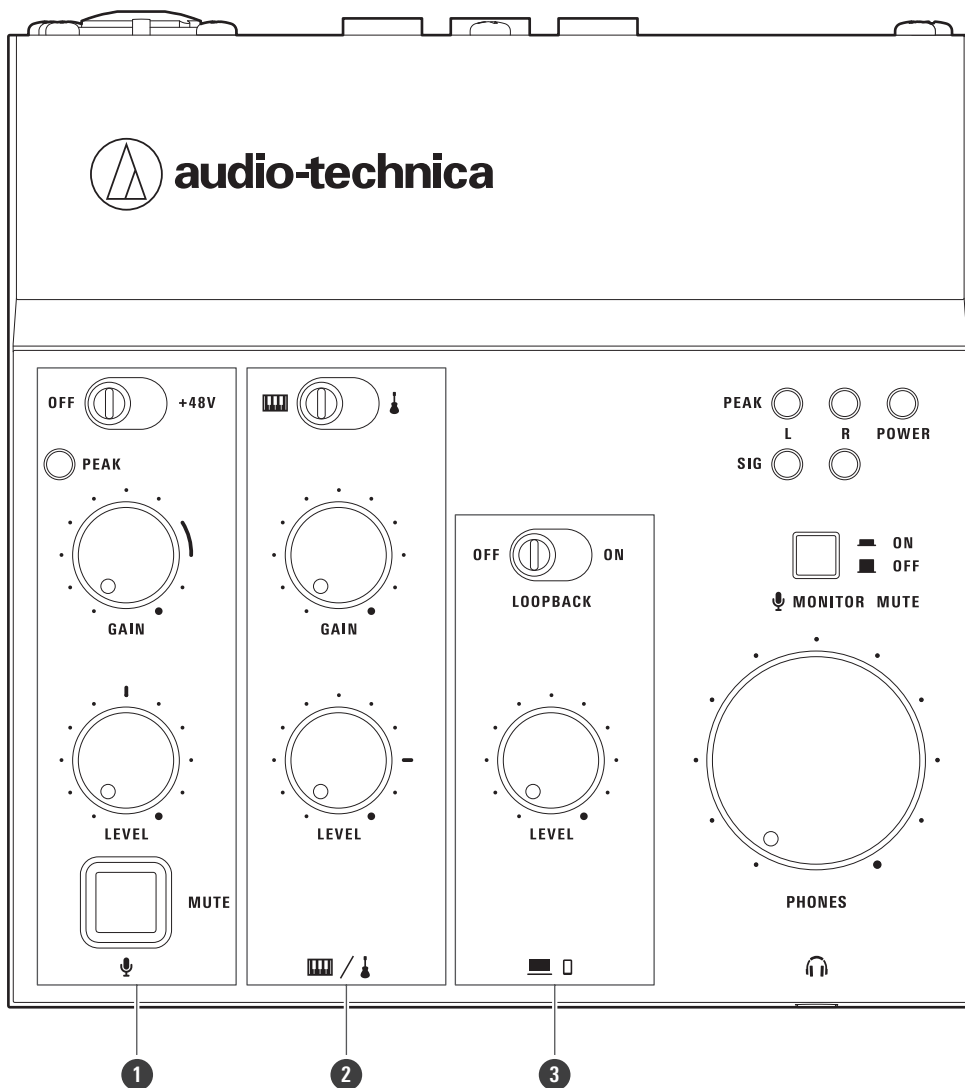
### 5 マイク入力端子

マイクロホン接続します。XLRと $\phi 6.3\text{mm}$ モノラル標準プラグの両方に対応しています。

# 各部の名称と機能

## 入力ごとの設定・調整について

マイク入力、ライン入力、USB入力ごとに、設定できるスイッチやボタン、調整できるノブが次のように分かれています。



### 1 マイク入力の設定・調整

マイク入力端子に接続したマイクロホンの音量レベルの調整やファントム電源の供給ON/OFF、またマイクロホンのミュートを行います。

### 2 ライン入力の選択・調整

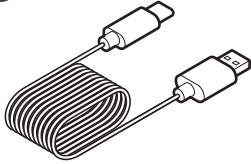
ライン入力端子に接続した楽器の音量レベルの調整や入力（楽器）の切り替えを行います。

### 3 USB入力の設定・調整

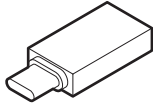
USB端子（USB Type-C）に接続したパソコンまたはスマートフォン/タブレットなどの音量レベルの調整やループバック機能のON/OFFを行います。

## 付属品

①



②



- ① USBケーブル（1.5m、USB Type-C - USB Type-A）
- ② USB変換アダプター（USB Type-A - USB Type-C）

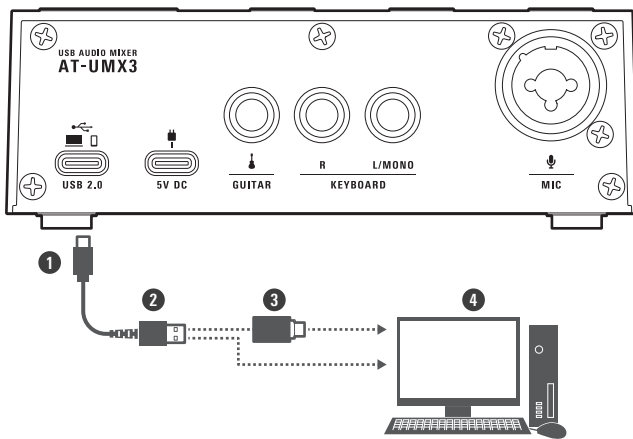


# 接続のしかた

## 接続する前に

- 接続機器の電源をOFFにしてください。
- 本製品のボタンが押されていないことと、スイッチがOFF側になっていることを確認してください。
- 本製品の音量調整ノブ（GAIN、LEVEL、PHONES）と接続機器の音量はすべて最小にしてください。
- 接続機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- 接続ケーブル（別売）は、接続機器の端子をご確認のうえお買い求めください。

## パソコンと接続する



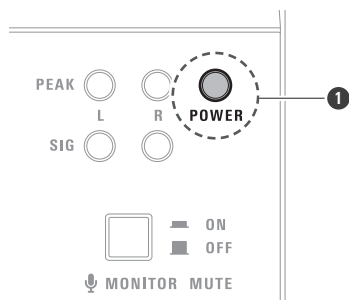
- 1 USB Type-C
- 2 USB Type-A
- 3 USB変換アダプター（USB Type-A - USB Type-C）
- 4 パソコン

**1** 付属のUSBケーブル（USB Type-C側）を本製品の背面にあるUSB端子（USB 2.0）に接続します。

**2** 付属のUSBケーブル（USB Type-A側）をパソコンに接続します。

- お使いのパソコンのUSB端子によって、付属のUSB変換アダプター（USB Type-A - USB Type-C）をお使いください。USB変換アダプターは、パソコン側のUSB端子に使用してください。本製品側のUSB端子には接続しないでください。
- パソコンの電源を入れると、USBケーブル経由で本製品に電源供給され、本製品の電源がONになり、電源インジケータが点灯します。

## 接続のしかた

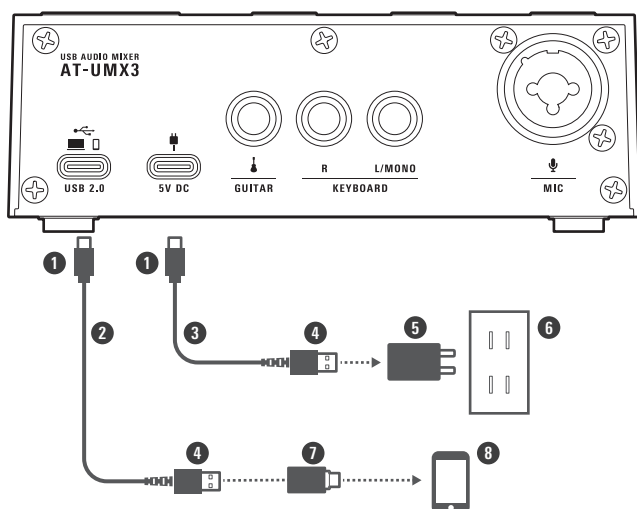


① 電源インジケータ

## スマートフォン/タブレットと接続する

スマートフォン/タブレット端末を使用する場合は、家庭用コンセントに差し込まれた市販のUSB電源アダプターからUSBケーブルを經由して本製品に電源を供給する必要があります。

- USB電源端子への接続は、必ずUSB端子にスマートフォン/タブレットを接続してから行ってください。



- ① USB Type-C
- ② USBケーブル (同梱)
- ③ USBケーブル (市販)
- ④ USB Type-A
- ⑤ USB電源アダプター (市販)
- ⑥ 家庭用電源コンセント
- ⑦ USB変換アダプター (USB Type-A - USB Type-C)
- ⑧ スマートフォン/タブレット

**1** 付属のUSBケーブル (USB Type-C側) を本製品の背面にあるUSB端子 (USB 2.0) に接続します。

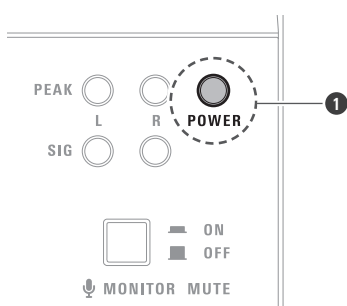
## 接続のしかた

### 2 付属のUSBケーブル（USB Type-A側）に付属のUSB変換アダプター（USB Type-A - USB Type-C）を使ってスマートフォン／タブレットに接続します。

- 付属のUSB変換アダプターは、スマートフォン／タブレット側のUSB端子に使用してください。本製品側のUSB端子には接続しないでください。
- Lightningコネクター対応のiPhone／iPadと接続する場合は、付属のUSB変換アダプター（USB Type-A - USB Type-C）ではなく、市販のApple社製Lightning-USBカメラアダプタを使用してください。

### 3 市販のUSB電源アダプターを家庭用コンセントに差し込み、USBケーブルでUSB電源端子（USB Type-C）（5V DC）に接続します。

- 本製品に電源が供給され、本製品の電源がONになり、電源インジケータが点灯します。



① 電源インジケータ

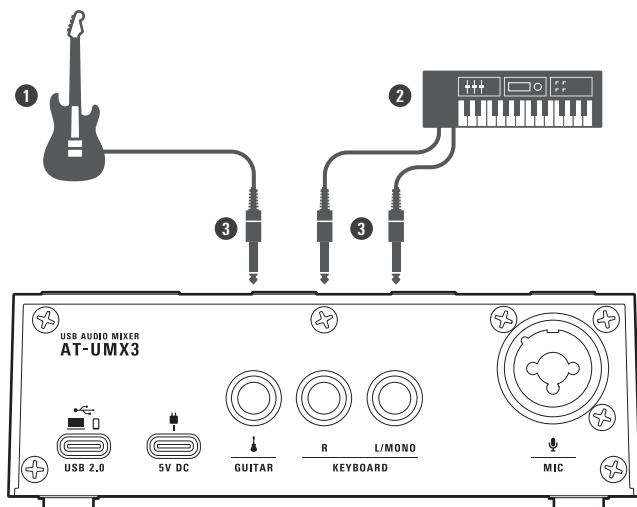
- ❗ 市販のUSB電源アダプターをスマートフォン／タブレットよりも先に接続すると、スマートフォン／タブレットが認識されない場合があります。必ずスマートフォン／タブレットを接続してからUSB電源アダプターを接続してください。

## 楽器やマイクを接続する

### 楽器を接続する

本製品ではライン入力端子を2系統搭載しており、ギターやキーボードをはじめとしたあらゆる電子楽器やエフェクター、マイクプリアンプなどを接続することができます。

## 接続のしかた



- ① エレキギターやエレキベースなど
- ② 電子キーボードなど
- ③ φ6.3mmモノラル標準プラグ

### 1 本製品の背面にあるライン入力端子（「GUITAR」および「KEYBOARD」）に楽器を接続します。

- エレキギターやエレキベースは「GUITAR」の入力端子にφ6.3mmモノラル標準プラグ（アンバランス接続）を使用してください。バランス接続で使用した場合は正常に動作しません。
- 電子キーボードやミキサーは「KEYBOARD」の入力端子にφ6.3mmモノラル標準プラグ（アンバランス接続）を使用してください。バランス接続で使用した場合は正常に動作しません。
- 「KEYBOARD」の入力端子はステレオライン音を入力します。「L/MONO」端子は、モノラル出力アンプを接続するときに使用します。この場合、「L/MONO」端子への入力、Lチャンネルだけでなく、Rチャンネルからも出力されます。

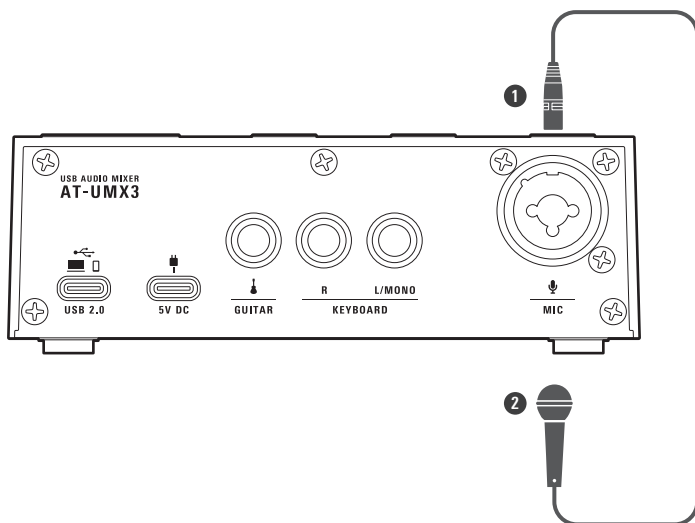


- ライン入力端子に接続した楽器はライン入力切替スイッチで入力したいほうの音に切り替えます。詳しくは「ライン入力を切り替える」(p.25)をご確認ください。

## マイクを接続する

本製品のマイク入力端子はXLRとφ6.3mmモノラル標準プラグの両方に対応しています。

## 接続のしかた



- ① XLR /  $\phi$ 6.3mmモノラル標準プラグ
- ② マイクホン

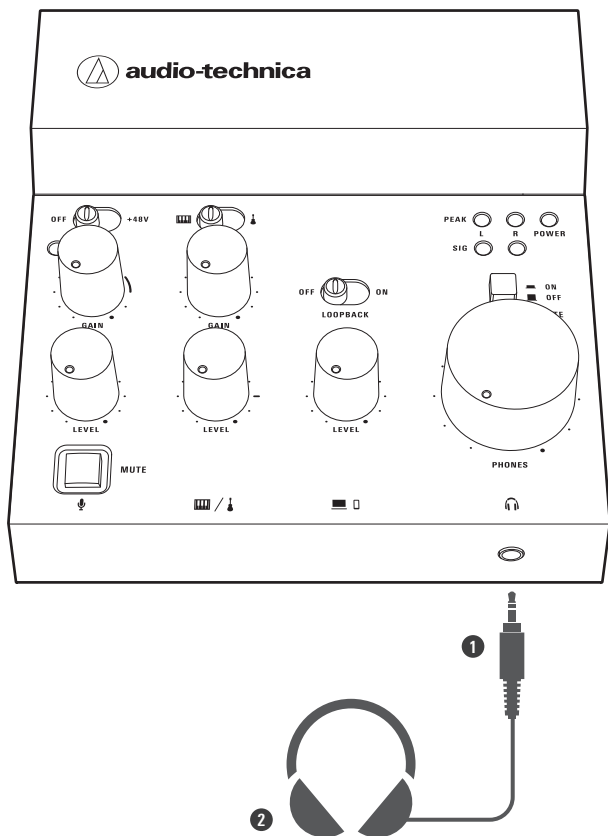
### 1 本製品の背面にあるマイク入力端子 (MIC) にマイクを接続します。

- コンデンサーマイクを使用する場合は、マイク入力端子のXLRプラグにDC+48Vファントム電源を供給する必要があります。詳しくは「マイク入力端子にファントム電源を供給する」(p.27)をご確認ください。



- ダイナミックマイクを接続する場合は、ファントム電源スイッチが「OFF」側になっていることを確認してから接続してください。詳しくは「マイク入力端子にファントム電源を供給する」(p.27)をご確認ください。

## ヘッドホンを接続する



① φ3.5mmステレオミニプラグ

② ヘッドホン

**1** 本製品の前面にあるヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続します。

- ご使用のヘッドホンプラグがφ6.3mmステレオ標準プラグの場合は、変換プラグ（別売）をお買い求めください。

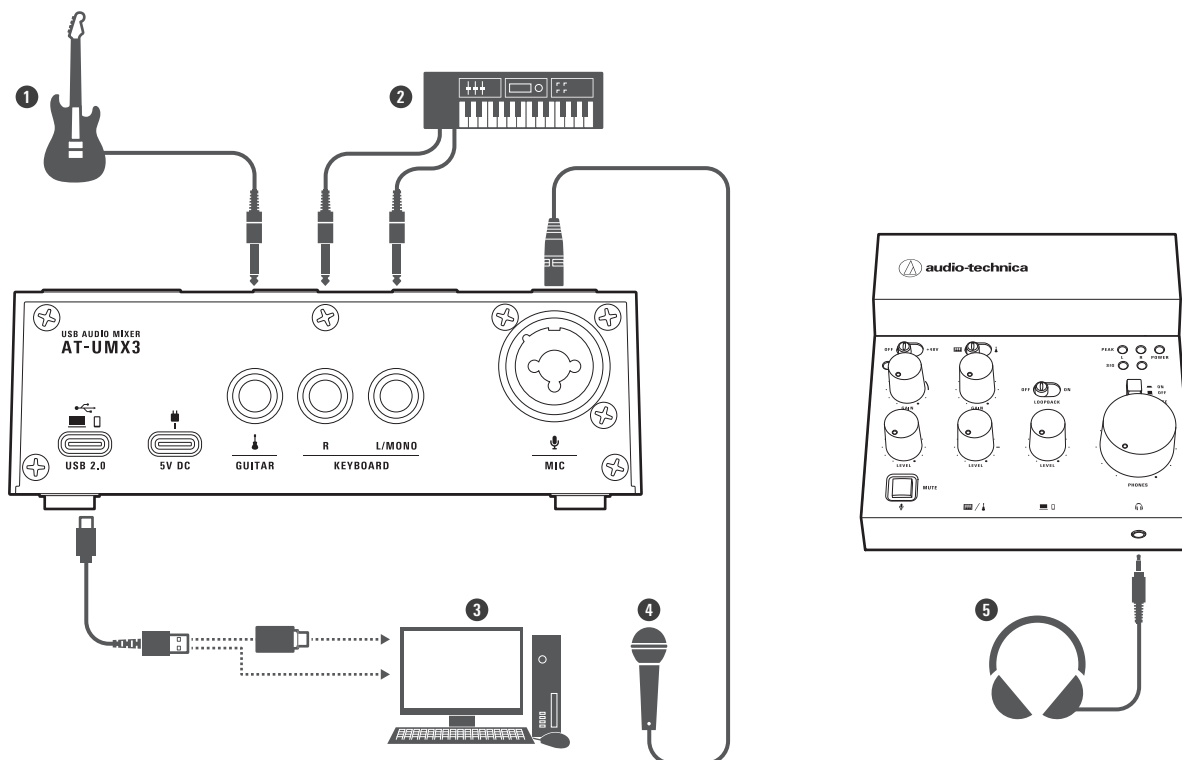
# ライブ配信を行う

## パソコンでライブ配信を行う

ライン入力端子に接続した楽器や、マイク入力端子に接続したマイクロホン、USB端子に接続したパソコンなどの入音をミックスしてパソコンで配信することができます。


### 接続例

各機器の接続について詳しくは「接続のしかた」(p.8)をご確認ください。

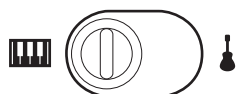


- ① エレキギターやエレキベースなど
- ② 電子キーボードなど
- ③ パソコン
- ④ マイクロホン
- ⑤ ヘッドホン

**1** ライン入力端子に接続されている楽器の電源を入れます。

**2** ライン入力切替スイッチを、入力したいライン入力側（ または ）にスライドさせます。

- 詳しくは「ライン入力を切り替える」(p.25)をご確認ください。



## ライブ配信を行う

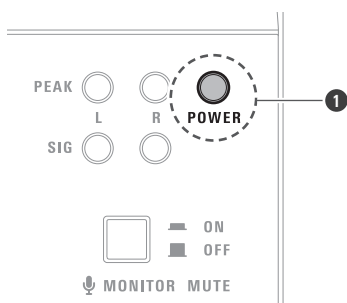
### 3 マイク入力端子に接続されているマイクのタイプによってファントム電源スイッチを切り替えます。

- コンデンサーマイクを接続している場合は、「+48V」側にスライドさせます。
- ダイナミックマイクを接続する場合は、「OFF」側にスライドさせます。
- 詳しくは「マイク入力端子にファントム電源を供給する」(p.27)をご確認ください。



### 4 USB端子 (USB Type-C) (USB 2.0) に接続しているパソコンの電源を入れます。

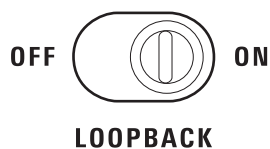
- 本製品の電源がONになり、電源インジケータ (POWER) が点灯します。



- ① 電源インジケータ

### 5 パソコン上で再生する音をBGMとして流したい場合は、ループバックスイッチを「ON」側にスライドさせます。

- 詳しくは「ループバック機能を使う」(p.25)をご確認ください。

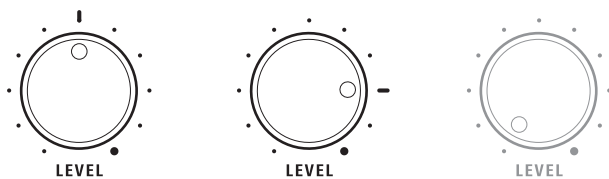


### 6 マイク入力およびライン入力のレベル調整ノブを調整します。

- マイク入力端子にマイクロホン接続している場合は、マイク入力の「LEVEL」を12時の位置まで回します。
- ライン入力端子にギターやキーボードなどの楽器を接続している場合は、ライン入力の「LEVEL」を3時の位置まで回します。
- 詳しくは「入力レベルを調整する」(p.23)をご確認ください。

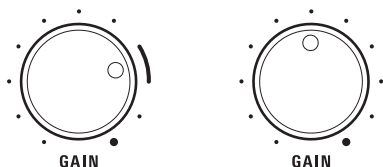


## ライブ配信を行う



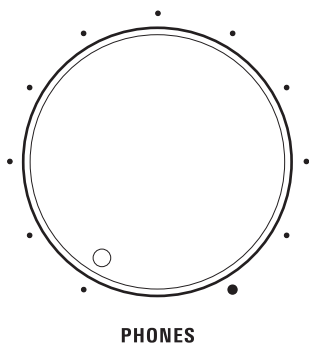
### 7 ゲイン調整ノブを調整します。

- マイク入力端子にマイクロホンを接続している場合は、マイク入力の「GAIN」を2時～3時の位置まで回します。
- ライン入力端子にギターやキーボードなどの楽器を接続している場合は、ライン入力の「GAIN」を12時の位置まで回します。
- 詳しくは「入力ゲインを調整する」(p.22)をご確認ください。



### 8 ヘッドホン音量調整ノブを調整します。

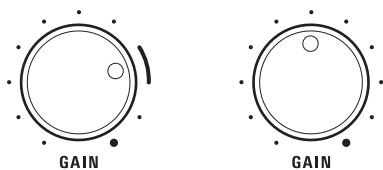
- 入力機器から音を入力しながらノブを右に回してヘッドホンのモニター音量を調整してください。



### 9 マイクや楽器から実際に音を出しながら、ゲイン調整ノブを調整します。

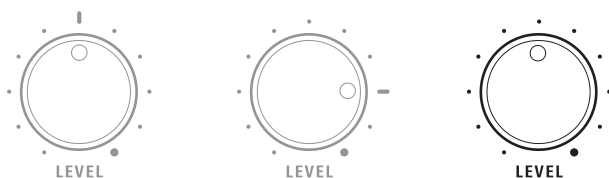
- マイクを使用する際、マイクと口との間は、コンデンサーマイクの場合30cm程度、ダイナミックマイクの場合10cm程度離してください。
- マイク入力の場合、大きめの声で話しながら入力ピークインジケーターが点灯する寸前の位置に調整します。
- ライン入力の場合、ギターやキーボードから音を出し、ヘッドホンで音量を確認しながら出力ピークインジケーターが点灯する寸前の位置に調整します。

## ライブ配信を行う



### 10 パソコンから実際に音を出しながら、USB入力のレベル調整ノブを調整します。

- ヘッドホンで音量を確認しながら「LEVEL」ノブを右に回して入力レベルを調整します。



### 11 パソコンで配信用のアプリケーションを起動し、配信を開始します。

- 配信中の音量調整はそれぞれの入力のレベル調整ノブで行ってください。

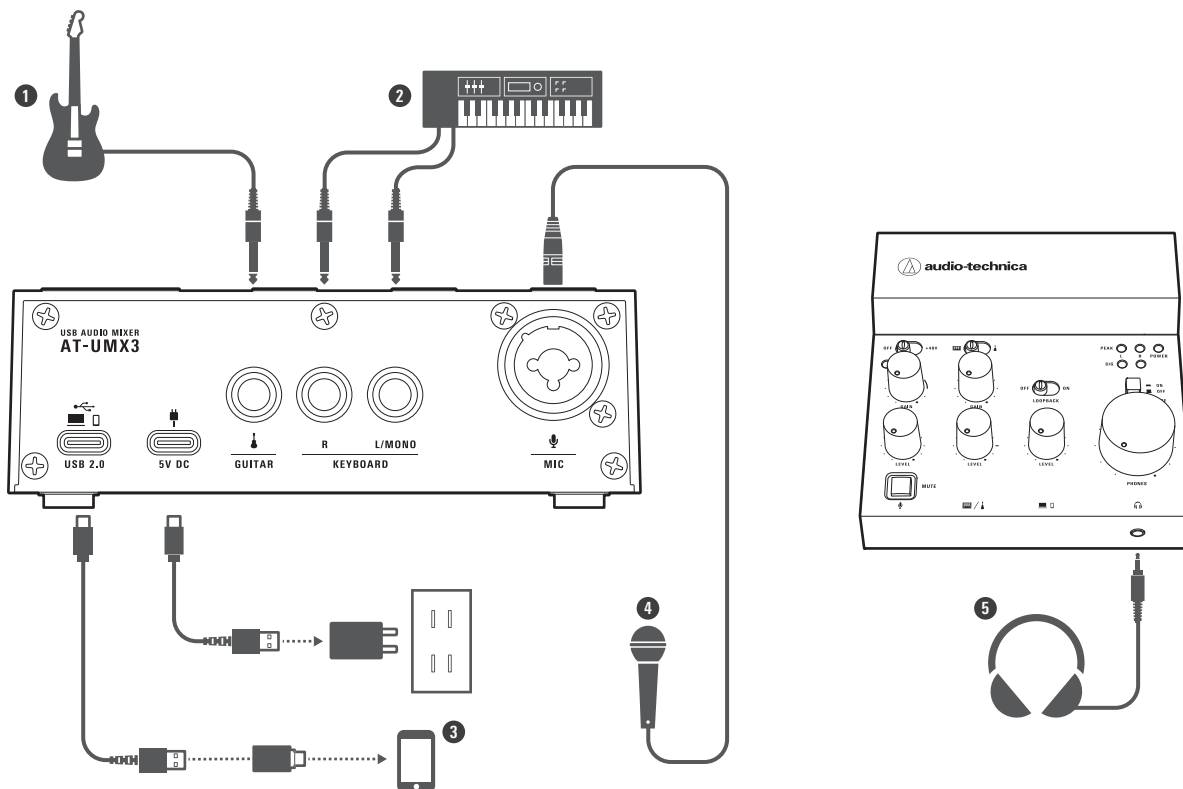
## スマートフォン/タブレットでライブ配信を行う

ライン入力端子に接続した楽器や、マイク入力端子に接続したマイクロホン、USB端子に接続したスマートフォン/タブレットなどの入力音をミックスしてスマートフォン/タブレットで配信することができます。

### 接続例



各機器の接続については「接続のしかた」(p.8)をご確認ください。

# ライブ配信を行う

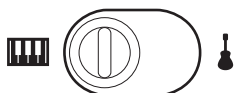


- ① エレキギターやエレキベースなど
- ② 電子キーボードなど
- ③ スマートフォン／タブレット
- ④ マイクホン
- ⑤ ヘッドホン

**1** ライン入力端子に接続されている楽器の電源を入れます。

**2** ライン入力切替スイッチを、入力したいライン入力側（ または ）にスライドさせます。

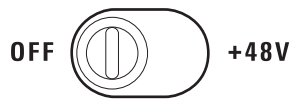
- 詳しくは「ライン入力を切り替える」(p.25)をご確認ください。



**3** マイク入力端子に接続されているマイクのタイプによってファントム電源スイッチを切り替えます。

- コンデンサーマイクを接続している場合は、「+48V」側にスライドさせます。
- ダイナミックマイクを接続する場合は、「OFF」側にスライドさせます。
- 詳しくは「マイク入力端子にファントム電源を供給する」(p.27)をご確認ください。

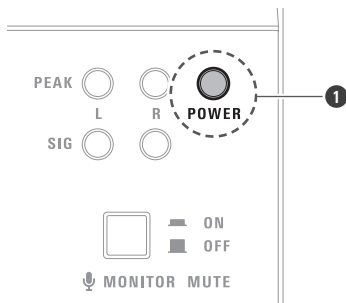
## ライブ配信を行う



**4** USB端子 (USB Type-C) (USB 2.0) に接続されているスマートフォン/タブレットの電源を入れます。

**5** 市販のUSB電源アダプターを家庭用コンセントに差し込み、USBケーブルでUSB電源端子 (USB Type-C) (5V DC) に接続します。

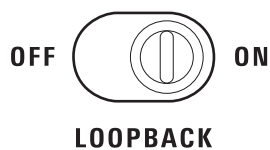
- 市販のUSB電源アダプターをスマートフォン/タブレットよりも先に接続すると、スマートフォン/タブレットが認識されない場合があります。必ずスマートフォン/タブレットを接続してからUSB電源アダプターを接続してください。
- 本製品の電源がONになり、電源インジケータ (POWER) が点灯します。



① 電源インジケータ

**6** スマートフォン/タブレット上で再生されている音をBGMとして流したい場合は、ループバックスイッチを「ON」側にスライドさせます。

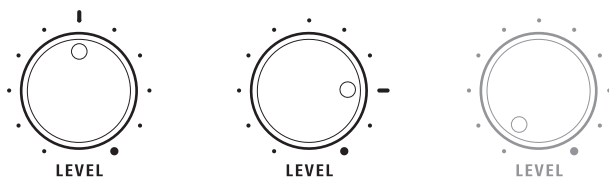
- 詳しくは「ループバック機能を使う」(p.25)をご確認ください。



**7** マイク入力およびライン入力のレベル調整ノブを調整します。

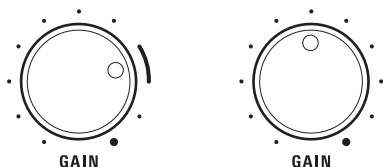
- マイク入力端子にマイクロホンを接続している場合は、マイク入力の「LEVEL」を12時の位置まで回します。
- ライン入力端子にギターやキーボードなどの楽器を接続している場合は、ライン入力の「LEVEL」を3時の位置まで回します。
- 詳しくは「入力レベルを調整する」(p.23)をご確認ください。

## ライブ配信を行う



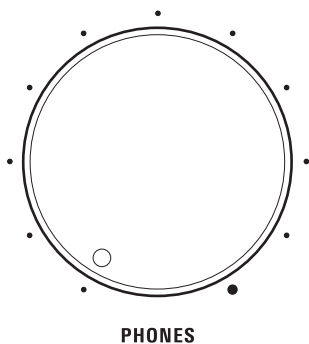
### 8 ゲイン調整ノブを調整します。

- マイク入力端子にマイクロホンを接続している場合は、マイク入力の「GAIN」を2時～3時の位置まで回します。
- ライン入力端子にギターやキーボードなどの楽器を接続している場合は、ライン入力の「GAIN」を12時の位置まで回します。
- 詳しくは「入力ゲインを調整する」(p.22)をご確認ください。



### 9 ヘッドホン音量調整ノブを調整します。

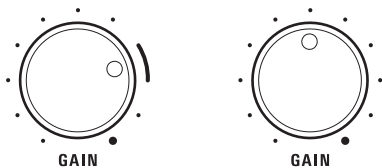
- 入力機器から音を入力しながらノブを右に回してヘッドホンのモニター音量を調整してください。



### 10 マイクや楽器から実際に音を出しながら、ゲイン調整ノブを調整します。

- マイクを使用する際、マイクと口との間は、コンデンサーマイクの場合30cm程度、ダイナミックマイクの場合10cm程度離してください。
- マイク入力の場合、大きめの声で話しながら入力ピークインジケーターが点灯する寸前の位置に調整します。
- ライン入力の場合、ギターやキーボードから音を出し、ヘッドホンで音量を確認しながら出力ピークインジケーターが点灯する寸前の位置に調整します。

## ライブ配信を行う



### 11 スマートフォン/タブレットから実際に音を出しながら、USB入力のレベル調整ノブを調整します。

- ヘッドホンで音量を確認しながら「LEVEL」ノブを右に回して入力レベルを調整します。



### 12 スマートフォン/タブレットで配信用のアプリケーションを起動し、配信を開始します。

- 配信中の音量調整はそれぞれの入力のレベル調整ノブで行ってください。

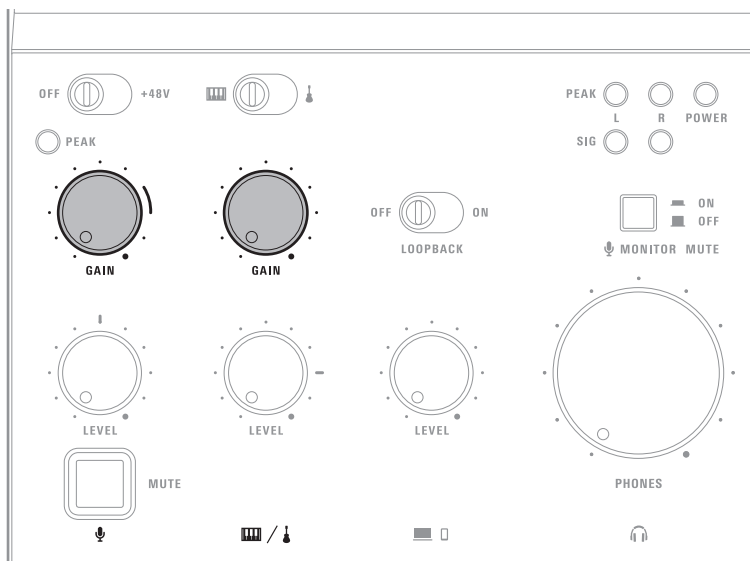
# 使いかた

## 入力ゲインを調整する

マイク入力端子およびライン入力端子からの入力音の音量を調整します。調整はゲイン調整ノブ（GAIN）で行います。

### 1 マイクや楽器から音を出しながらゲイン調整ノブ（GAIN）を左右に回して音量を調整します。

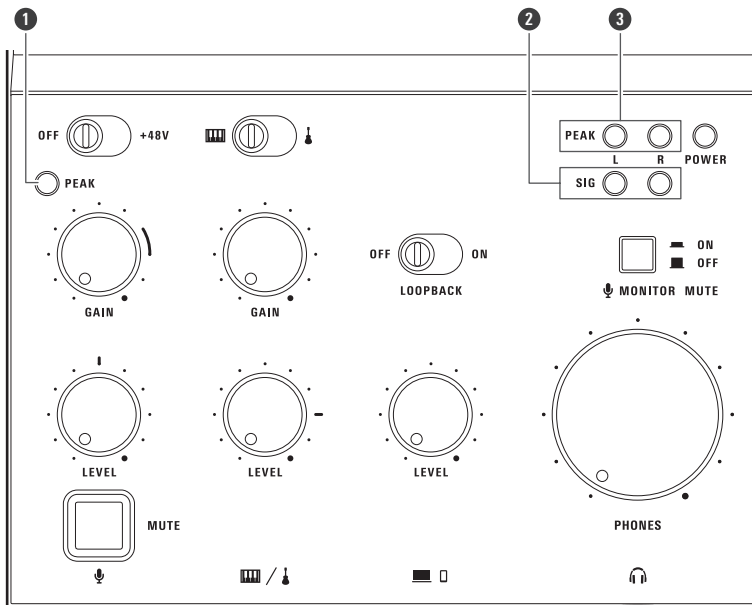
- 左に回すと音量が下がって、右に回すと音量が上がります。



### インジケータについて

- デバイスへ出力する音の大きさが-15dBFS以上あるときはシグナルインジケータ（SIG）が緑色点灯します。
- ピークインジケータ（PEAK）が頻繁に点灯する場合は、最大入力で一瞬点灯する程度に下げてください。

# 使いかた



- ① 入力ピークインジケータ
- ② シグナルインジケータ
- ③ 出力ピークインジケータ

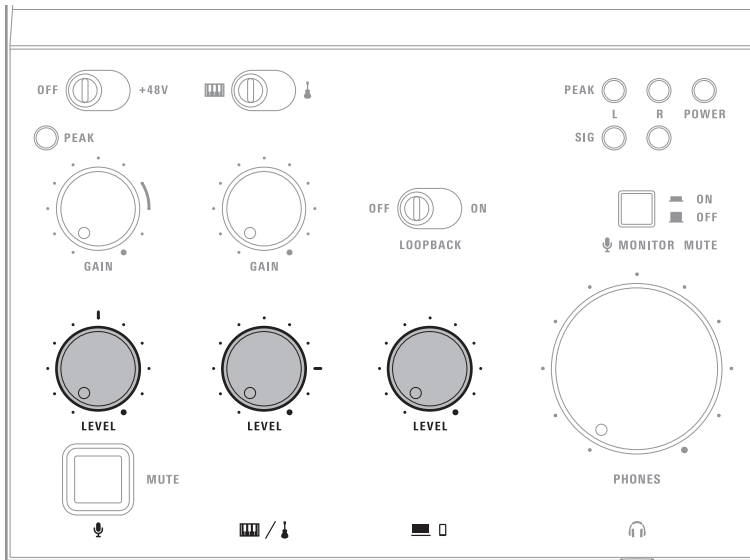
## 入力レベルを調整する

マイク入力端子、ライン入力端子およびUSB端子からの入力レベルを調整します。調整はレベル調整ノブ（LEVEL）で行います。

- 1 マイクや楽器、パソコンまたはスマートフォン/タブレットなどから音を出しながらレベル調整ノブ（LEVEL）を左右に回して入力レベルを調整します。
  - 左に回すと入力レベルが下がって、右に回すと入力レベルが上がります。

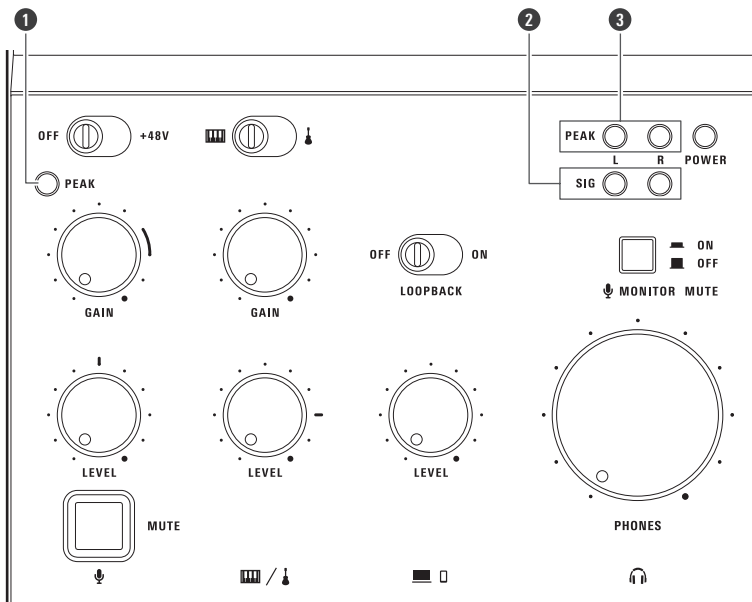


# 使いかた





## インジケータについて

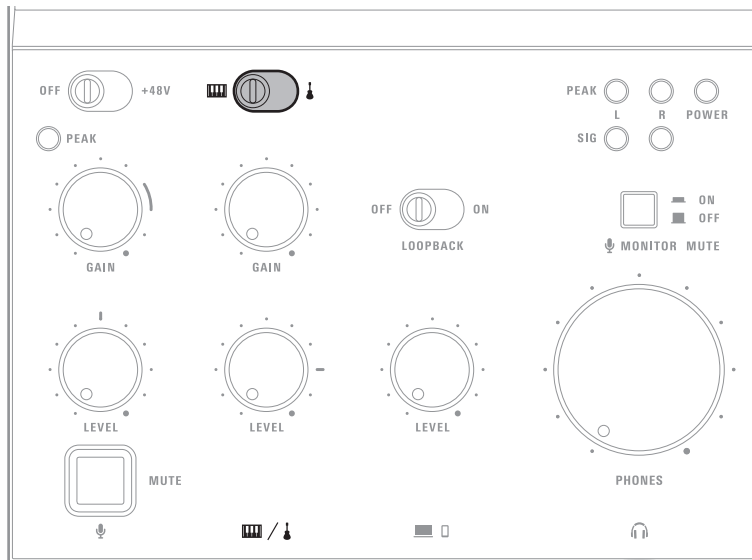
- デバイスへ出力する音の大きさが-15dBFS以上あるときはシグナルインジケータ（SIG）が緑色点灯します。
- ピークインジケータ（PEAK）が頻繁に点灯する場合は、最大入力で一瞬点灯する程度に下げてください。



- ① 入力ピークインジケータ
- ② シグナルインジケータ
- ③ 出力ピークインジケータ

## ライン入力を切り替える

- 1 ライン入力切替スイッチを入力したいライン入力側（または)にスライドさせます。



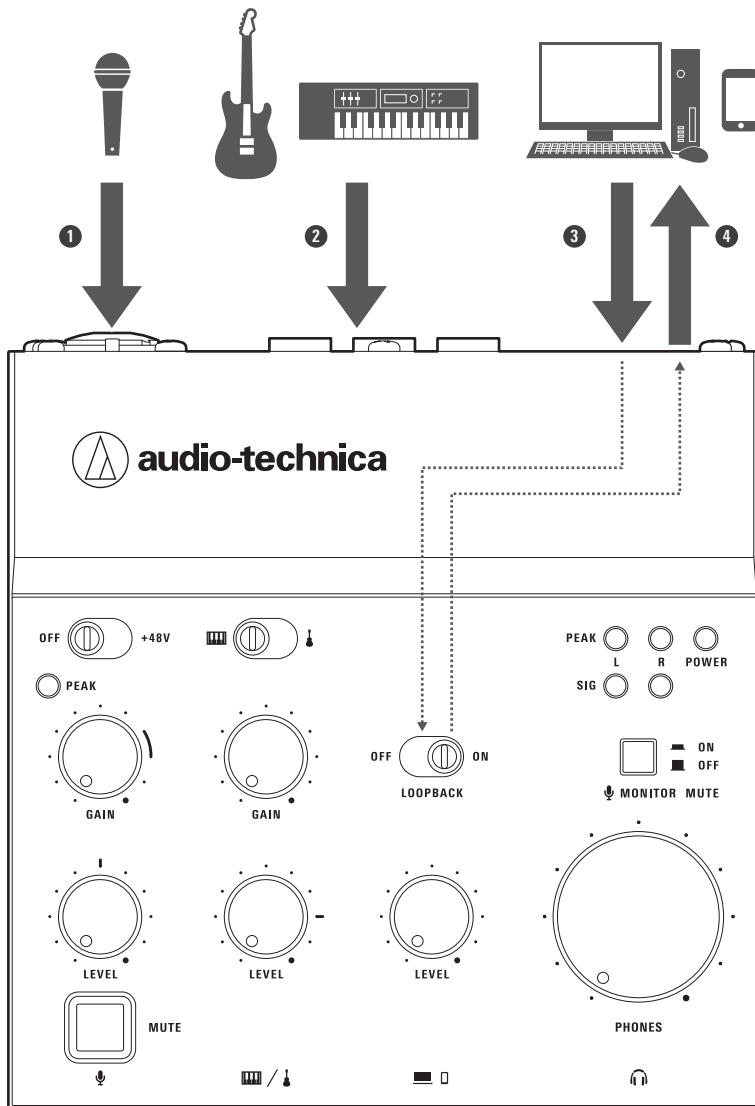
## ループバック機能を使う

### ループバック機能について

ループバックをONにすることで、パソコンまたはスマートフォン／タブレットなどのデバイス上で再生されている音と本製品に入力された音をステレオミックスしてデバイスに出力することができるため、次のような使いかたができます。

- デバイス上で再生している音をBGMとして流してライブ配信することができます。
- DAWソフトで録音した音声や制作した音楽をデバイス上で再生し、同時に歌ったり演奏したりすることができます。
- デバイス上でプレイしているゲーム音を、マイク入力音声と同時に配信することができます。

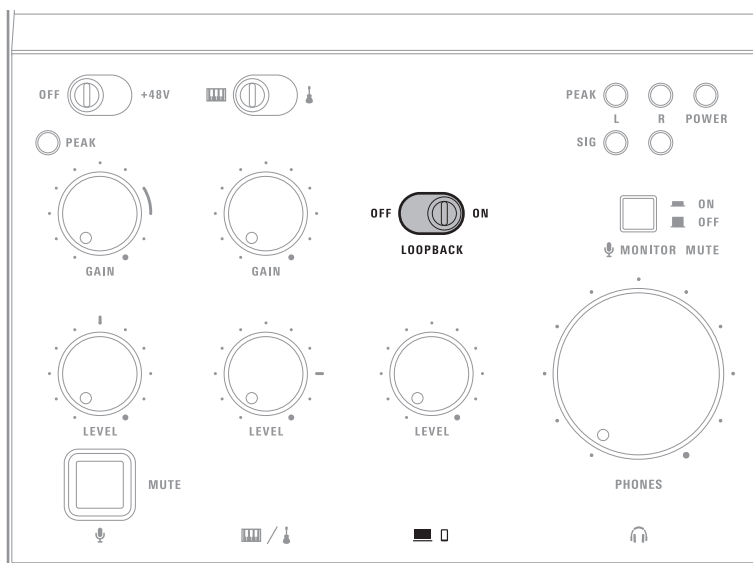
# 使いかた



- ① マイク入力からの音声
- ② ライン入力からの音
- ③ USB入力からの音
- ④ マイク入力からの音声とライン入力からの音にUSB入力からの音をステレオミックスした音

## ループバック機能をONにする

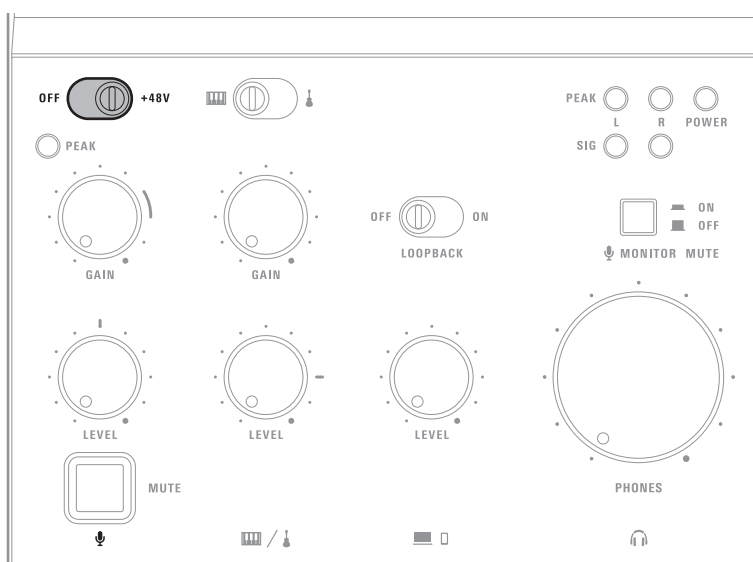
- 1 ループバックスイッチをON側にスライドさせます。



## マイク入力端子にファントム電源を供給する

マイク入力端子に接続するマイクロホンがコンデンサーマイクの場合は、次の操作を行いマイク入力端子のXLRプラグにDC+48Vファントム電源を供給します。ダイナミックマイクを接続しているときは次の操作は必要ありません。

- 1 ファントム電源スイッチを「+48V」側にスライドさせます。

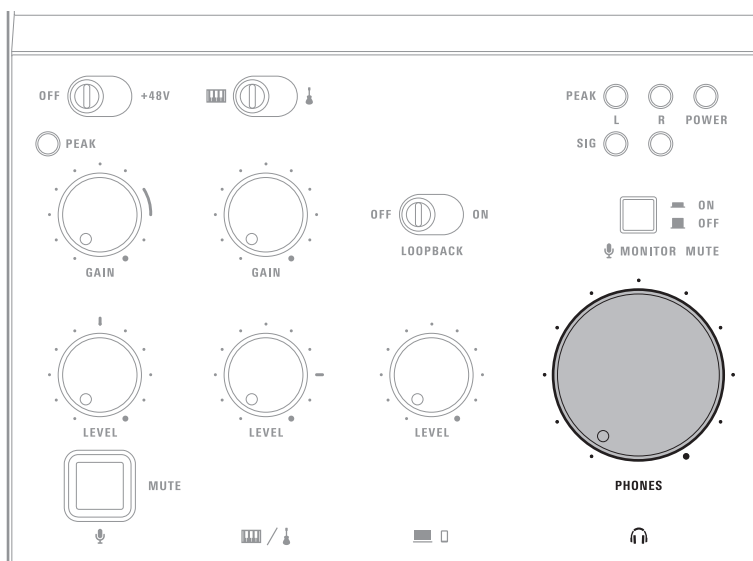


- ファントム電源に対応していないマイクロホンを接続している場合、ファントム電源スイッチを「+48V」側にしないでください。マイクロホンが破損する場合があります。

## ヘッドホンの音量を調整する

ヘッドホン出力端子に接続したヘッドホンの音量を調整します。

- 1 ヘッドホン音量調整ノブ (PHONES) を左右に回して音量を調整します。
  - 左に回すと音量が下がって、右に回すと音量が上がります。

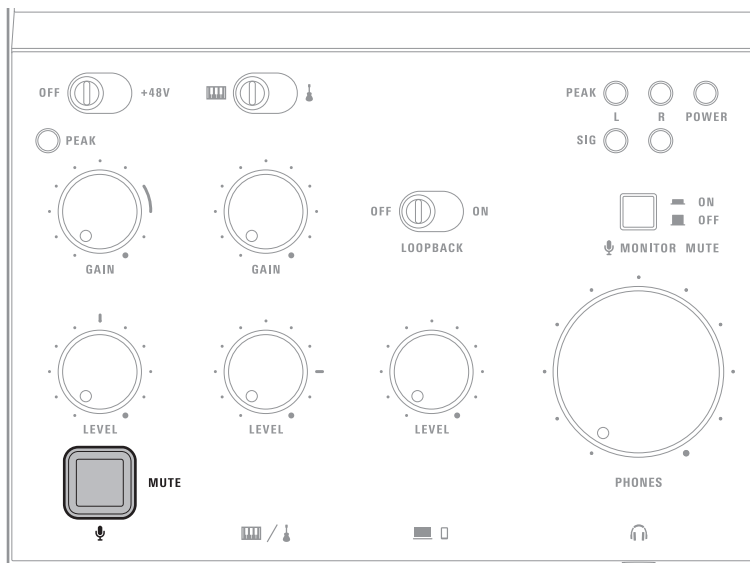


## ミュート (消音) する

### マイク入力の音声をミュートする

- 1 マイクミュート (消音) ボタン (MUTE) を押します。
  - ミュート中はボタン (MUTE) が赤色で点灯します。
  - もう一度ボタン (MUTE) を押すとミュートが解除されます。

# 使いかた



## ヘッドホンでマイク入力の音声をミュートする

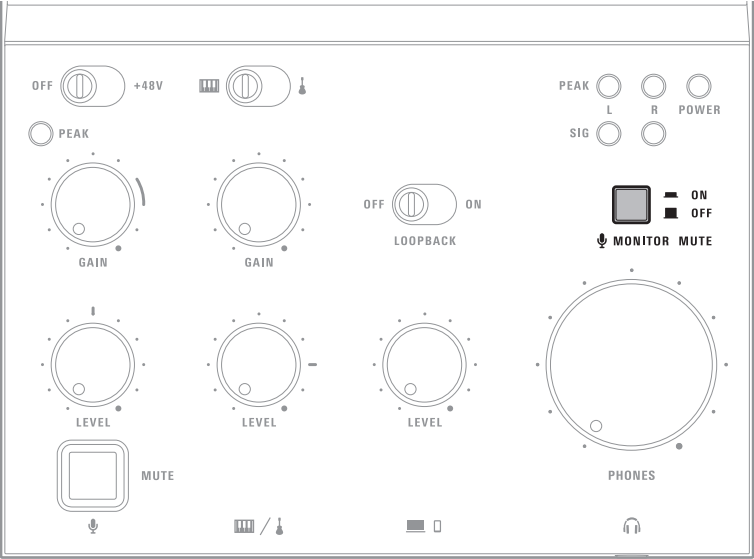
ヘッドホン出力端子からのモニター音で、マイク入力の音声をミュートします（デバイスに出力する音（配信に流す音）からは消音されません）。次のようなときに使用すると便利です。

- 配信の際に自分の声を聴きたくないとき
- 演奏中やゲーム中などで自分の声が邪魔になるとき
- オンラインミーティングのとき

### 1 マイクモニターミュート（消音）ボタンを押します。

- もう一度ボタンを押すとミュートが解除されます。

# 使いかた



# お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

- 乾いた布で本製品の汚れを拭いてください。
- ケーブルが汗などで汚れた場合は、使用后すぐに乾いた布で拭いてください。汚れたまま使用すると、ケーブルが劣化して固くなり、故障の原因になります。
- プラグが汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。プラグが汚れたまま使用すると、音とびや雑音が入る場合があります。



- 長い間ご使用にならない場合は、高温多湿を避け、風通しの良い場所に保管してください。



# 故障かな？と思ったら

## ① 電源が入らない

- パソコンと接続しているUSBケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
- パソコンと接続しているUSBケーブルでUSB変換アダプターを本製品側に接続していないかご確認ください。USB変換アダプターはパソコン側に接続してください。
- パソコンの電源が入っているかご確認ください。
- スマートフォン/タブレットと接続している場合、市販のUSB電源アダプターを使って本製品に電源が供給されているかご確認ください。



## ② 接続したマイクロホンの電源が入らない

- コンデンサーマイクを接続しているときは、本製品のファントム電源スイッチが「+48V」に設定されているかご確認ください。

## ③ マイクロホンからの音が出ない、歪む、小さい

- 接続ケーブルがしっかりと奥まで差し込まれているかご確認ください。
- マイク入力がミュートされていないかご確認ください。ミュート時はマイクミュート（消音）ボタン（MUTE）が赤く点灯します。
- 入力ピークインジケーター（PEAK）が点灯していないかご確認ください。点灯時はマイク入力のゲイン調整ノブ（GAIN）を左に回して入力音量を下げてください。
- 音が出ないときや小さいときは、マイク入力のゲイン調整ノブ（GAIN）やレベル調整ノブ（LEVEL）を右に回して音量や入力レベルを上げてください。

## ④ 楽器からの音が出ない、歪む、小さい

- 接続ケーブルがしっかりと奥まで差し込まれているかご確認ください。
- ライン入力切替スイッチで音を出したい入力（「」または「」）が選択されているかご確認ください。
- 出力ピークインジケーター（PEAK）が点灯していないかご確認ください。点灯時はライン入力のゲイン調整ノブ（GAIN）を左に回して入力音量を下げてください。
- 音が出ないときや小さいときは、ライン入力のゲイン調整ノブ（GAIN）やレベル調整ノブ（LEVEL）を右に回して音量や入力レベルを上げてください。

## ⑤ 接続したスマートフォン/タブレットが認識されない

- スマートフォン/タブレットをUSB端子に接続してから市販のUSB電源アダプターを接続しているかご確認ください。市販のUSB電源アダプターを接続してからスマートフォン/タブレットをUSB端子に接続すると本製品でスマートフォン/タブレットが認識されない場合があります。この場合は、スマートフォン/タブレットおよびUSB電源アダプターの接続を抜いてから、再度接続を行ってください。

## 故障かな？と思ったら

### ① パソコンまたはスマートフォン／タブレットなどのデバイスからの音が出ない、歪む、小さい

- 付属のUSBケーブルがしっかりと奥まで差し込まれているかご確認ください。
- パソコンまたはスマートフォン／タブレットなどの音量設定をご確認ください。
- 出力ピークインジケータ（PEAK）が点灯していないかご確認ください。点灯時はUSB入力のレベル調整ノブ（LEVEL）を左に回して音量レベルを下げてください。
- 音が出ないときや小さいときは、USB入力のレベル調整ノブ（LEVEL）を右に回して音量レベルを上げてください。

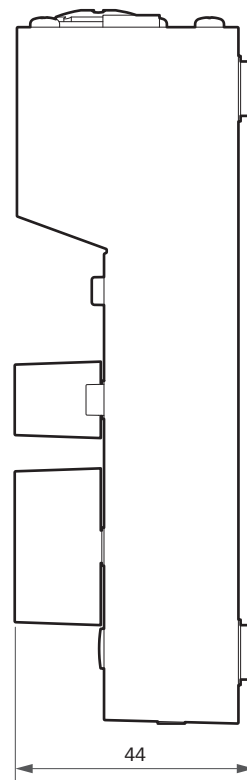
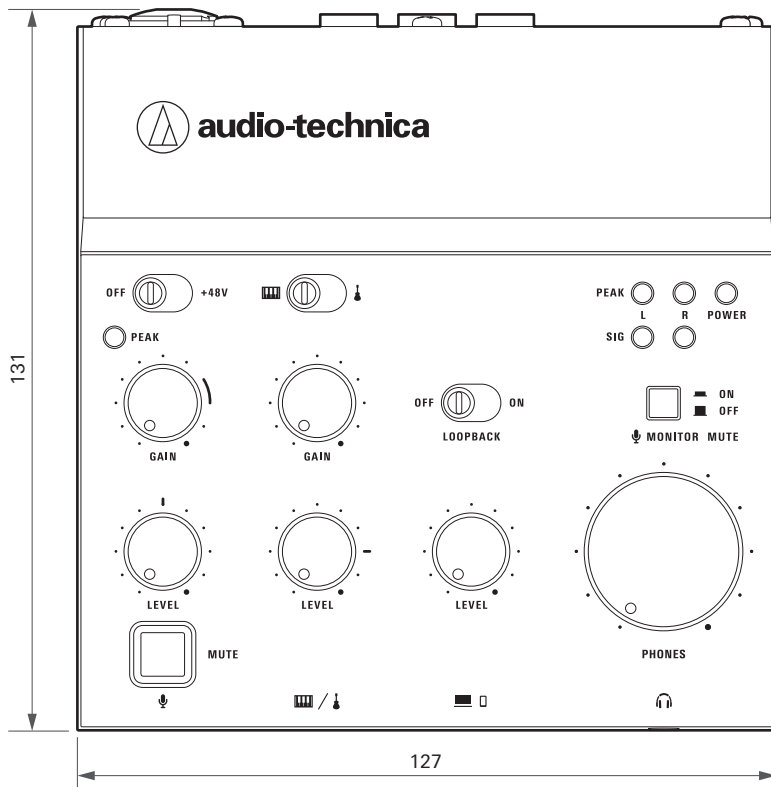
### ② ヘッドホンからの音が出ない、小さい

- 接続ケーブルがしっかりと奥まで差し込まれているかご確認ください。
- 音が出ないときや小さいときは、ヘッドホン音量調整ノブ（PHONES）を右に回して音量を上げてください。

### ③ ヘッドホンからマイクの音が聞こえない

- ヘッドホンからのマイク入力ミュートされていないかご確認ください。

# 外形寸法図



(単位：mm)

# テクニカルデータ

入力端子	MIC : XLR/TRSコンボジャック LINE (GUITAR) : $\phi$ 6.3mm標準ジャック (Hi-Z) LINE (KEYBOARD) : $\phi$ 6.3mm標準ジャック L/MONO・R USB STEREO INPUT
出力端子	HEADPHONE OUT : $\phi$ 3.5mmステレオミニジャック USB STEREO OUTPUT
USB	USB 2.0、High Speed
サンプリング周波数	最大192kHz
ビットレート	16bit/24 bit
ファントム電源	+48V
電源	USB-Cバスパワー : 5V、500mA USB-C (電源供給のみ) : 5V、500mA
消費電力	最大2.5W
周波数特性	USB入力→モニター出力 : $\pm$ 1.5dB (20Hz~20kHz) (ループバックON、USB入力レベル最大、モニター音量中間 (@1kHz) )
対応OS	Windows : Windows 10、Windows 11 macOS : macOS Catalina、macOS Big Sur、macOS Monterey、macOS Ventura iOS : 16.4.1 iPad OS : 16.4.1 Android OS : 10、11、12、13 (最新の情報は、製品ホームページをご確認ください。)
質量	334g
外形寸法 (突起部含む)	127mm×131mm×44mm (W×D×H)
付属品	USBケーブル (1.5m、USB Type-C - USB Type-A) 、USB変換アダプター (USB Type-A - USB Type-C)

- 改良などのため、予告なく変更することがあります。

# 商標について

- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。
- Mac、macOS、iPhone、iPad、Lightningは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- AndroidはGoogle LLCの商標です。

**株式会社オーディオテクニカ**

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1  
[www.audio-technica.co.jp](http://www.audio-technica.co.jp)

**Audio-Technica Corporation**

2-46-1 Nishi-naruse, Machida, Tokyo 194-8666, Japan  
[www.audio-technica.com](http://www.audio-technica.com)  
©2024 Audio-Technica Corporation  
Global Support Contact: [www.at-globalsupport.com](http://www.at-globalsupport.com)